

第3回（2018年11月26日）

事例検討会「病態失認のある利用者の自宅復帰」

カトレア（老健）から、病態失認があり、トイレ動作が自立していないが、自宅復帰を目指している患者さんの紹介があり、問題点の抽出と今後の課題について、意見交換を行ないました。昼間は介護者が自宅におらず一人になることから、在宅での生活に懸念が多い事例でしたが、多職種からなる参加者から、それぞれの専門性を生かした発言があり、利用者を全人的にサポートする有意義な議論となりました。現実には解決できない問題が多い中で、多職種が力を合わせて少しでも安全に在宅復帰してもらう活動の良いモデルになったと思います。